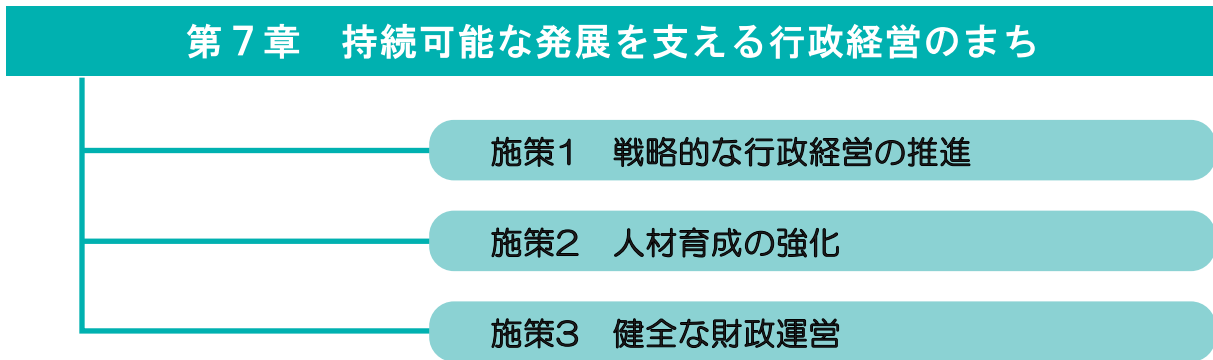


分野のめざす姿

○限られた経営資源を活かした効率的、公平かつ適正な行政経営により、最大の成果を実現し、持続可能な発展を支える市役所を、市民は信頼しています。

施策体系



施策1

戦略的な行政経営の推進

現状と課題

- 地方分権改革が推進し、国の制度や法令の義務付け・枠付けが廃止されるなか、地域の自己決定・自己責任のもと、施策目標の達成に向けた戦略的な行政経営が求められています。
- 地方分権の進展とともに、本市では厳しい財政状況のなか、限られた資源(ヒト・モノ・カネ)をもとに最大限の成果を発揮するため、より一層の「選択と集中」による施策展開や、周辺自治体との連携による広域行政のスケールメリットを活かした行政経営が求められています。

施策のめざす姿

- 本市を取り巻く社会情勢や市民ニーズを踏まえ、施策・事業の選択と集中を基本とした行政経営を進め、市民が安心し、快適に暮らしています。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値 (平成28年度)	説明
「届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている」と思う市民の割合	%	61.9	↗	住民意識調査
「広域的な課題や公共施設の共同利用等について他の市と連携して取り組んでいる」と思う市民の割合	%	54.2	↗	住民意識調査
基本計画に掲げた成果指標の平均達成率	%	—	100	

市役所の役割

- 市民ニーズを踏まえ施策・事業の選択・集中や連携・統廃合を基本に、計画的な行政経営を推進し、適切な行政サービスを提供し、市民満足度の向上に努めます。
- 近隣市町や大阪府と連携し、広域による行政事務を推進します。
- 新しい公共の担い手として期待されている市民、NPOおよび地縁団体など多様な主体が市役所とともに相互理解を深め、積極的に参画・協働するよう普及啓発に努めます。

市民などの役割

- 効率的・効果的な行政経営について、関心を持ち、積極的に意見を述べます。
- 市政に関する認識を深めるとともに、身近にできる地域の活動などに取り組みます。



■絵画コンクール「はんなんの未来予想図」より



施策2

人材育成の強化

現状と課題

- 地方分権の進展に伴い市の権限と責任が増大し、市民ニーズが多様化・複雑化するなか、増加する業務量に対応するとともに、より質の高い行政サービスを効率的かつ効果的に提供することが求められています。
- 限られた人材で効率的かつ効果的な行政経営を実現するには、職員一人ひとりの能力を組織的に育成することが求められています。
- 業務の複雑化・高度化などによるストレスの増大に伴い、職員に対するメンタルヘルス対策が求められています。

施策のめざす姿

- 地方分権時代に適切に対応していくために、職員が自らの資質向上に取り組むよう、職場風土の改革をはじめ職員一人ひとりの意識改革を図ります。
- 社会や職場環境の急激な変化にしなやかに対応し、市民が満足できる行政サービスを提供できる職員を育成します。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値 (平成28年度)	説明
「市職員一人ひとりが市民の視点に立って働いている」と思う市民の割合	%	50.5	↗	住民意識調査

市役所の役割

- 人材育成の基本的な考え方をまとめ、それに基づく採用、研修、昇任、評価といった一体的な人事制度を構築します。
- 求められる職員像を踏まえ、計画的な研修を実施し、戦略的な行政経営に対応できる職員の能力開発を図ります。
- 適正な組織づくりと職員の適材適所の人事配置を行います。

市民などの役割

- 市役所との協働の場において、市民が持つ知識・経験を職員の資質・能力向上に役立てます。



■各種研修

施策3

健全な財政運営

現状と課題

- これまでも「持続可能な行財政運営システムの構築」をめざして行財政改革に取り組んできましたが、高齢化社会の進展に伴う福祉関連経費などの増加と社会経済情勢の悪化や人口減少に伴う市税などの減収が見込まれ、財政的には非常に厳しい状況となっています。
- 限られた財源の中で、より良い市民サービスを効率的、効果的に提供するためには、適正かつ健全な財政運営に努めていくことが求められています。

施策のめざす姿

- 安定した財源の確保と「選択と集中」を基本とした歳出の効率化を図り、健全な財政運営を行います。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値 (平成28年度)	説明
市税徴収率	%	90.5	全国 都市 平均値	納付額÷課税額 現状値は平成21年度の値 (平成20年度全国都市平均値:92.4%)
経常収支比率 ^(*)	%	93.3	全国 都市 平均値	経常経費充当一般財源額 ÷経常一般財源総額 現状値は平成21年度の値 (平成21年度全国都市平均値:91.1%)

市役所の役割

- 市税収入を確保するための課税物件などの的確な把握や徴収体制の強化、公平な受益者負担の考え方に基づく使用料・手数料の見直し、また、補助金、起債などの効率的、効果的な活用により、安定した歳入の確保に努めます。
- 将来世代の負担を考慮した計画的な公債管理に努めます。
- 多様な主体との協働・協調や役割分担を進めるとともに、事業の目的と効果を明確にし、選択と集中による重点化や事業費の精査により、歳出の効率化に取り組みます。
- 公有財産の利活用方針の検討を行い、有効活用と売却を進めます。
- 財政状況について、市ウェブサイトや広報を通じて、市民に分かりやすく情報提供します。

市民などの役割

- 市の財政状況を理解します。

(*1)経常収支比率：地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標。税などの毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費や扶助費、公債費^(*2)などの毎年度経常的に支出する経費がどれくらいの割合で充当されているかを示すもの。

(*2)公債費：市が発行した地方債の元利償還金(元金と利子)と一時借入金の利子の合計額。

